

# city & life

都市のしくみと暮らし

no.90  
winter  
2008

日本橋

特集 シュリンクング・シティ——  
縮小する都市の新たなイメージ



表紙・裏表紙 — 『TOKYO NOBODY』よりphoto:中野正貴

特集

シュリンキング・シティ —  
縮小する都市の新たなイメージ

contents

|  |         |
|--|---------|
| インタビュー   縮小する都市とファイバーシティ2050<br>縮小に「未来」はあるか   大野秀敏   | 2       |
| インタビュー   シュリンキング・シティ、スタディーズ<br>「都市をたたむ」アーバンデザイン 団塊の世代の都市問題   饗庭 伸<br>共生と連携の地域デザイン 「歴史・エコ回廊」による地域再編   高橋賢一                        | 6<br>11 |
| インタビュー   人口減少時代を読み解く<br>2020年、東京はエイジドシティになる?! 人口縮小社会と都市の変貌   松谷明彦<br>多角的な拠点づくりとアジア・ネットワーク   大西 隆<br>「LIFE」から考える人口減少時代の都市像   大江守之 | 16      |
| インタビュー   「KY」な日本のシュリンキング・シティ   藻谷浩介  | 27      |
| ケーススタディ   シュリンキング時代の「地域資産活用術」<br>東京R不動産 / 黄金町バザール / 東京コミュニティパワーバンク   | 33      |
| back number・information  | 40      |



# シロリンキング・シティ 縮小する都市の新たなイメージ

特集

日本の人口は、2055年までに約4000万人が減少し、そのうちおよそ4割が65歳以上に達すると予測されている。税収が減り、国の財源は縮小せざるを得ないし、年金を始めとする社会保障制度も不安視される。また、住宅地を始めとする土地利用、公共交通インフラの需要も変わり、当然、都市のあるべき姿も変化せざるを得ないだろう。しかし人類は基本的に、その誕生以来「成長」することしか体験してきていない。「縮小」は「衰退」のイメージと結び付きやすく、ネガティブな感情を抱かせもする。だが、「縮小」は決して「衰退」とイコールではないはずだ。このことを理解し、人類にとって未曾有の時代を迎えるためにも、早急に「縮小」する都市の新たなビジョンが提示されることが必要だ。 photo:新井 卓「黄金町バザール、黄金町写真館」(関連記事:p33)